

公開シンポジウム  
「同性婚・パートナー法の可能性－オランダの経験から学ぶ」

1. 主 催 日本学術会議法学委員会親密な関係に関する制度設計分科会、
2. 共 催 特別配偶者法（パートナー法）全国ネットワーク
3. 日 時 平成26年4月7日（月）14：00 ～ 17：00
4. 場 所 日本学術会議5階A－（1）、（2）会議室

5. 開催趣旨

同性婚制度の導入が世界各地で相次いでいる。平成25年だけでも4か国が制度の導入を決定し、既存のパートナー法の取り扱いなど具体的な議論が始まっている。他方、日本では同性婚やパートナー法の法制化に向けた議論は進んでおらず、当事者らによる法制定の働き掛けも具体的な成果をあげられていない。このシンポジウムでは、2001年に世界で初めて同性婚制度を導入したオランダにおいて、法制化の中心的役割を果たしたボリス・ディトリッヒ氏を迎え、日本における同性婚・パートナー法の法制化の可能性を探る。

6. 次 第

挨拶・全体説明（14:00～14:10）

戒能 民江（日本学術会議第一部会員、お茶の水女子大学名誉教授）

基調講演（14:10～15:00）

ボリス・ディトリッヒ（ヒューマンライツウォッチ・LGBT ディレクター、  
元オランダ国会議員）

報告者（15:00～15:35）

谷口 洋幸（日本学術会議特任連携会員、高岡法科大学法学部准教授）

休 憩（15:35～15:50）

コメント（15:50～16:20）

紙谷 雅子（日本学術会議連携会員、学習院大学大学院法務研究科教授）

廣瀬 真理子（日本学術会議連携会員、東海大学教養学部教授）

大江 千束（特別配偶者法（パートナー法）全国ネットワーク共同代表）

総合討論（16:20～17:00）

司会：谷口 洋幸（日本学術会議特任連携会員、高岡法科大学法学部准教授）

紙谷 雅子（日本学術会議連携会員、学習院大学大学院法務研究科教授）

廣瀬 真理子（日本学術会議連携会員、東海大学教養学部教授）

大江 千束（特別配偶者法（パートナー法）全国ネットワーク共同代表）

**※予約不要。一般公開。参加費は無料。**

【お問い合わせ先】

戒能 民江（日本学術会議第一部会員、お茶の水女子大学名誉教授）

E-mail:kaino.tamie@ocha.ac.jp